

I. ゾーニング

PCR 陽性者の所属	隔離場所	酸素治療要> 2人
つくし B	つくし B	つくし B
つくし A	つくし A	つくし A
あかね	あかね	あかね
いなほ	いなほ	あかね*注1
かえで	かえで	あかね*注1
のどか	のどか	あかね*注1

*1 酸素治療必要時、1人までは濃縮器使用

2人以上いる場合は、あかねに移動し、あかね利用者はわたぐもに移動する

*2 酸素が必要ない場合は、各ゾーンで隔離する場合もあり、隔離場所を各ゾーンで設定しておく

条件: 出入口は専用できること。防護服の着替えのスペースも確保すること

*3 つくし B とナースセンターはビニールカーテンで仕切る

II. 職員配置

12時間勤務に変更する(緊急対応として検討)

感染者 2 名に対し1名/1勤務(+外部応援要員)

非感染者10人に対し日中 2 名/1勤務、夜勤は 1 名。

III. 業務

● 日中の姿勢

・効率に合わせて、車いすでもベッド上でも可。

● 更衣

・2日に1回。

● 入浴と清拭

・入浴はなし。清拭は2日に1回。

・陰部は1日1回、陰洗や使い捨て布で拭き清潔を保つ。

● 排せつ

・可能な限りオムツで対応。簡易トイレの使用も検討。

● 食事と水分

・食事は1日3食(人員不足あれば1日2回も考慮する。)

30分で切り上げる。ムセ頻回、喘鳴出現したらその時点で中止する。

・水分摂取は1日2回

(人員不足あれば1日1回も考慮する)

・注入回数や量は原則通常通り。(人員不足あれば災害時注入表に従う)

● 夜間の姿勢(体交、排泄、ラウンドの回数と時間)

・体交は3時間毎→4~5時間毎にし、一晩で3回→1~2回にする。

・見守りモニターなどの導入をする。(要検討)

発生時の初動対応マニュアル

<利用者、ショート>

- ① 発熱、呼吸器症状あり→リーダー、Drへ報告。事務所に連絡し、ゾーン隔離開始。
- ② 発熱者は隔離スペース(可能な限り個室)に移動。発熱者との位置関係を記録しておく。
- ③ ショートステイ利用者は居室に移動。自宅へ電話連絡し帰宅してもらう。
- ④ 静岡市新型コロナなんでも相談窓口(0570-08-0567 9:00~20:00)または帰国者・接触者相談センター(054-249-2221 20:00~9:00)に相談後、医師により PCR 検査または迅速検査実施。(場合によってはショートステイ利用者も検査実施する)
- ⑤ 病院への移送準備(受け入れ病院へ:ドライバー、看護師、Dr)
- ⑥ PCR 確定まで、個室でモニターを付けて状態観察
- ⑦ 発熱者担当職員は固定して、できるだけ1~2人で対応。
手袋、ゴーグル、N95 マスク、キャップ、ブルーガウン着用。
- ⑧ 職員分担を課長・主任と速やかに相談
(発熱者担当、濃厚接触者担当、その他利用者担当)
他の職員、利用者とは接することはないようにする

<職員>

- ① 職員発熱→すぐに職場に連絡。
静岡市新型コロナなんでも相談窓口(0570-08-0567 9:00~20:00)または帰国者・接触者相談センター(054-249-2221 20:00~9:00)に相談後、指定病院で PCR 検査施行。
- ② PCR 確定後、職場長、Drへ報告。事務所に連絡し、ゾーン隔離開始。
- ③ 濃厚接触した利用者は、1 区画に隔離する。
- ④ 保健所に相談後、医師により濃厚接触者(利用者・職員)の PCR 検査実施。
- ⑤ 利用者検温、呼吸器症状の観察
- ⑥ 濃厚接触職員、自宅待機。
- ⑦ 職員分担を課長・主任と速やかに相談
(発熱者担当、濃厚接触者担当、その他利用者担当)
※結果がでるまでは、ゾーン隔離対応(ゾーンの外に出る時は、ガウン着用)
他の職員、利用者とは接することはないようにする